

平成26年度

**「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」
及び「学校関係者評価報告書」**

大阪市立中大江幼稚園

平成27年3月

平成26年度

「運営に関する計画」

(最終評価)

大阪市立中大江幼稚園

平成27年3月

1 学校運営の中期目標

【 視点 学力の基礎の向上 】

- 平成 27 年度末の保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と回答する保護者の割合を 80%以上にする。
- ・「小学校との連携を大切にしていると感じますか」
- ・「身近な環境に親しみ、幼稚園生活を楽しんでいますか」 (カリキュラム改革関連)

【 視点 道徳心・社会性の育成 】

- 平成 27 年度末の保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と回答する保護者の割合を 80%以上にする。
- ・「集団生活での必要なきまりや約束の大切さに気付いていますか」
- ・「防災、防犯、交通安全に対する意識をもっていますか」
- ・「身近な人に親しみをもっていますか」 (マネジメント改革関連)

【 視点 健康・体力の保持増進 】

- 平成 27 年度末の保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と回答する保護者の割合を 80%以上にする。
- ・「体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」
- ・「食に興味や関心をもっていますか」
- ・「健康な生活習慣の大切さに気付いていますか」 (カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【 視点 学力の基礎の向上 】

- 本年度の保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と回答する保護者の割合を75%以上にする。
 - ・「小学校との連携を大切にしていると感じますか」
 - ・「身近な環境に親しみ、幼稚園生活を楽しんでいますか」 （カリキュラム改革関連）

【 視点 道徳心・社会性の育成 】

- 本年度の保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と回答する保護者の割合を75%以上にする。
 - ・「集団生活での必要なきまりや約束の大切さに気付いていますか」
 - ・「防災、防犯、交通安全に対する意識をもっていますか」
 - ・「身近な人に親しみをもっていますか」 （マネジメント改革関連）

【 視点 健康・体力の保持増進 】

- 本年度の保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と回答する保護者の割合を75%以上にする。
 - ・「体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」
 - ・「食に興味や関心をもっていますか」
 - ・「健康な生活習慣の大切さに気付いていますか」 （カリキュラム改革関連）

3 本年度の自己評価結果の総括

- 保護者アンケートの結果、「学力の基礎の向上」「道徳心・社会性の育成」「健康・体力の保持増進」の視点では、どの項目においても「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」の回答する割合が85%以上あり、目標を上回って達成することができた。しかし、アンケート回収率は、1回目が64%、2回目が68%であった。この結果から、アンケートに回答する保護者の割合を多くすることが課題である。
- 「学力の基礎の向上」では、好きな遊びで子どもたちが主体的活動できる環境を工夫する、「道徳心・社会性の育成」では、取り組み内容の指標となる学期ごとの生活目標を精選する、「健康・体力の保持増進」では、年間を通して取り組めるような計画を立てる等、より教職員で活発に意見を出し合い、園全体ですすめていけるようにする。
- どの項目においても、子どもの個人差が大きいことがわかった。さらに子どもへの指導と共に、保護者の意識が高められるような全体または個別の啓発を工夫し、幼稚園と家庭が連携していく。

大阪市立中大江幼稚園 平成26年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

(評価基準) 4: 目標を上回って達成した 3: 目標通りに達成した
2: 取り組んだが目標を達成できなかった 1: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：学力の基礎の向上】</p> <p>○ 本年度の保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と回答する保護者の割合を75%以上にする。</p> <p>・「小学校との連携を大切にしていると感じますか」</p> <p>・「身近な環境に親しみ、幼稚園生活を楽しんでいますか」 (カリキュラム改革関連)</p>	4

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況をはかる指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 校種間・園間連携】</p> <p>交流年間計画を立て、幼小連携をすすめる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 小学校の全学年と年間10回以上交流し、教職員の相互参観を年間2回以上する。</p>	3
<p>取組内容②【区分 環境】</p> <p>身近な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを取り入れながら活動できるような環境を整える。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 年間計画に基づいて実施する。</p>	3
<p>取組内容③【区分 保育研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>教員の資質向上に努められるよう、身近な環境を活かした園内研究会を行う。(マネジメント改革関連)</p> <p>指標 園内研究会を年間3回行う。</p>	3

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

- アンケートの「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する保護者は、「小学校との連携を大切にしていると感じますか」が100%、「身近な環境に親しみ、幼稚園生活を楽しんでいますか」が98%であった。

【取組内容】について

- ① 小学校との交流はおおむね年間計画通り実施した。11月の1年生との「いきものランド」の交流は土曜日実施であったため、2月の3年生との歌や合奏を聞きあう交流は行事の都合で交流できなかった。また、7月の1年生とのプール交流、9月の地震・津波合同避難訓練については雨天のため交流が出来なかったが、後日1年生のプール参観を見学したり、地震・津波の避難訓練で小学校内に実際に避難したりする機会をもつことができた。年間計画以外では7月に2年生理科の授業で2年生と年長、年中児が交流し、12月に1年生のタブレット端末を使った授業を参観し、2月に「おもちゃまつり」に2年生と年長年中児が交流を図り、小学校の授業に関心をもつことができた。年間10回以上の交流を通して、子どもたちは小学生に憧れや感謝の気持が芽生え、交流を深めることができた。また、交流の事前に教職員間での打ち合わせをし、年度末に年間交流の反省会を行い、意見交換ができたが、それぞれの活動後に反省会ができることが望ましい。
- ② 遊ぶ場所の工夫や季節に応じた活動(色水遊び、泥遊び、泡遊び、玉入れ、リレー、電車ごっこ、落ち葉を使った製作など)の環境を整えたことで、子どもたちは、遊びに興味や関心を持ち、取り組むようになった。また、季節の草花を園庭に植えたことで、子どもたちは身近な自然に興味を持ち、色水遊びやごちそう作りに用いて遊ぶようになった。絵本の読み聞かせや歌唱指導で季節に合った題材を用意したことで、より身近に季節を感じ活動することが出来た。今後、全教職員で好きな遊びの共通理解を図り、各クラスが連携し、子どもたちが主体的に遊びを発展できるような環境の準備をしていきたい。
- ③ 園内研究会は7月に3歳児、11月に4歳児、2月に5歳児が行った。飼育していた小動物から遊びに発展したプール遊び、身近な素材を用いて子どもが意欲的に取り組んだ製作、タブレット端末を使用したお話作りなどの保育の実践を行ったことで、子どもが意欲を高め主体的に活動する活動内容、教師の援助、環境の工夫など、教職員間で意見交換し、資質向上に努めることができた。

次年度への改善点

- 交流活動後すぐに幼小の教職員間で反省会を行い、次の交流活動が充実したものとなるように努める。
- 小学校の研究授業等に多くの教職員が参加できるようにする。
- 子どもが主体的に遊べる好きな遊びの環境を工夫する。

大阪市立中大江幼稚園 平成26年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

(評価基準) 4:目標を上回って達成した 3:目標通りに達成した
2:取り組んだが目標を達成できなかった 1:ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：道徳心・社会性の育成】</p> <p>○ 本年度の保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と回答する保護者の割合を75%以上にする。</p> <p>・「集団生活での必要なきまりや約束の大切さに気付いていますか」</p> <p>・「防災、防犯、交通安全に対する意識をもっていますか」</p> <p>・「身近な人に親しみをもっていますか」</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	4

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況をはかる指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 道徳教育の推進】 集団生活に必要なきまりや約束の指導を行う。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 学期に1回生活目標を設定し、実施する。</p>	3
<p>取組内容②【区分 防災教育の推進】 避難訓練を実施する。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 避難訓練を年間10回行い、そのうち幼小合同で1回行い、津波を想定した避難訓練を1回以上行う。</p>	3
<p>取組内容③【区分 安全教育の推進】 防犯訓練、交通安全指導を実施する。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 防犯訓練を年間1回、交通安全指導を学期に1回実施する。</p>	3
<p>取組内容④【区分 特別支援教育の充実】 配慮を要する子どもについて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、支援に取り組む。(マネジメント改革関連)</p> <p>指標 学期に1回懇談をもち、支援計画を実施する。</p>	3

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

- アンケートの「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する保護者は、「集団生活での必要なきまりや約束の大切さに気付いていますか」が95%、「防災、防犯、交通安全に対する意識をもっていますか」が86%、「身近な人に親しみをもっていますか」が97%であった。

【取組内容】について

- ① 学期ごとの生活目標を教職員で共通理解し、園全体・クラス・個人での指導を行った。先生や友達と一緒に活動する時のきまりやルールを知らせ、守って遊べるように指導を行ったことで、約束を守って活動する姿が見られた。3歳児は、丁寧に個別指導をすることで身の周りの事を自分でできるようになった。4歳児は、個人の持ち物を分類して整理するようにしたことで、目標をもってできるようになった。
- ② 避難訓練(火災、地震)を毎月計画し、年間で10回行い、毎回良かった点や課題について子どもに指導した。津波が起きた時の避難訓練として、小学校3階まで避難する訓練を行い、子どもたちは高い所へ避難する経験ができた。
- ③ 7月に安全教室を行い、警察や地域の防犯委員から話を聞いた。また、好きな遊びの中で、不審者侵入の防犯訓練を行った。交通安全指導では、PTA、教職員による降園指導を3回行った。指導後の反省を次回にいかすようにした。
- ④ 配慮を要する子どもについて、保育後や年4回の園内委員会で、特別支援について話し合いをもち、教職員で幼児の実態や支援の方法について共通理解し、支援につとめた。学期に1回の個人懇談会や日頃の降園時に保護者と子どもの様子を話し合い、支援方法を探るようにした。年2回の巡回支援で、作業療法士より個々の支援方法を学び、日々の保育に取り入れるようにした。

次年度への改善点

- 子どもの実態に合った生活目標を立て、目標が達成できるような指導を工夫する。
- 降園指導は、子どもや保護者の交通安全への意識が高められる工夫をする。
- 個別の支援については、保護者を連携していくように努める。

大阪市立中大江幼稚園 平成26年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

(評価基準) 4: 目標を上回って達成した 3: 目標通りに達成した
2: 取り組んだが目標を達成できなかった 1: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：健康・体力の保持増進】</p> <p>○ 本年度の保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかというと当てはまる）」と回答する保護者の割合を75%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」 ・「食に興味や関心をもっていますか」 ・「健康な生活習慣の大切さに気付いていますか」 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	4

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況をはかる指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 体力向上への支援】</p> <p>集会において様々な運動遊びを取り入れ、歩いたり体を動かしたりする園外保育を実施し、体力づくりに取り組む。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 月1回以上の集会、年間10回の園外保育を実施する。</p>	3
<p>取組内容②【区分 食育】</p> <p>養護教諭による保健指導を行い、食への意識がもてるようにする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 年間12回の保健指導のうち、食に関する内容を年間3回以上実施する。</p>	4
<p>取組内容③【区分 健康な生活習慣】</p> <p>健康な生活習慣の大切さに気付けるような指導や配布物を活用した啓発活動を行う。</p> <p>指標「保健だより」を年間10回以上発行する。 (カリキュラム改革関連) (ガバナンス改革関連)</p>	3

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

アンケートの「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する保護者は、「体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」が96%、「食に興味や関心をもっていますか」が92%、「健康な生活習慣の大切さに気付いていますか」が88%であった。

【取組内容】について

① 季節や発達段階に応じた体操、運動会や生活発表会に向けての遊び、季節の体操、マラソンなど、その時期や子どもの実態に合わせて月1回以上集会を行った。戸外だけでなく遊戯室も活用し、誕生会では毎月1つ体操やダンスを取り入れた。運動会前などは週1～2回実施したが、行事や時期によってかたよりがあり、継続して定期的に取り組むことが課題である。

園外保育は、年間10回実施した。発達段階に応じて目的地を順に設定し、目的地まで歩く、目的地で体を動かすことを取り入れるようにした。集会や園外保育、クラスでのリズム遊び等を積み重ね、その結果、3学期末のお別れ遠足では、往復で3歳児が約1時間30分、4歳児が約2時間、5歳児が約4時間歩くことができた。

② 食についての保健指導を年間15回以上実施し、目標より上回って達成できた。内容が発達段階や時期に合っていたことで子どもたちは理解しやすかった。また、養護教諭と担任が連携を密にし、保護者と連携することで、個別の指導も細やかに行え、食に対する意識が高まった。

③ 「保健だより」等を年間25回発行し、健康な生活習慣の大切さに気付ける啓発活動は、目標を上回って達成した。子どもの健康な生活習慣について課題意識のある保護者には、養護教諭が積極的に声をかけ、保護者の思いを聞いたり、改善方法を具体的に知らせたりした。また、学期毎の保護者会では、園で子どもたちに指導している内容等をパワーポイントなど視覚物を使って知らせ、保護者に健康な生活習慣についての意識を高めることができた。しかし、健康な生活習慣が身に付いている状況は、個人差が大きい。

次年度への改善点

- 毎月の担当や集会の曜日を決め、計画的に体力づくりの活動を進める。
- 子どもが食に関する意識を高めたり、健康な生活習慣の大切さに気付いたりできるよう、保護者への啓発を工夫する。
- 食生活や健康な生活習慣は個人差が大きいことから個別の支援方法を工夫していく。

平成26年度 学校関係者評価報告書

大阪市立中大江幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

保護者アンケートの結果から、本年度の幼稚園の自己評価結果は妥当である。

- 特に道徳心・社会性の育成、健康・体力の保持増進は、幼稚園だけでなく、家庭でも身に付けていくことが重要だと感じる。家庭内では、みんなの協力のもと子育てをすることが望ましい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の基礎の向上

保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかという当てはまる）」と回答する保護者の割合を75%以上にする。

「小学校との連携を大切にしていると感じますか」「身近な環境に親しみ、幼稚園生活を楽しんでいますか」

(カリキュラム改革関連)

- 達成状況の評価に関しては妥当である。○ 今年度のタブレット端末導入について、興味や関心がある。

年度目標：道徳心・社会性の育成

保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかという当てはまる）」と回答する保護者の割合を75%以上にする。

「集団生活での必要なきまりや約束の大切さに気付いていますか」・「防災、防犯、交通安全に対する意識をもっていますか」「身近な人に親しみをもっていますか」

(マネジメント改革関連)

- 達成状況の評価に関しては妥当である。子どもたちが参加する地域の防災訓練を実施したい。

保護者アンケートで、次の項目について、「当てはまる（どちらかという当てはまる）」と回答する保護者の割合を75%以上にする。

「体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」「食に興味や関心をもっていますか」「健康な生活習慣の大切さに気付いていますか」

(カリキュラム改革関連)

- 達成状況の評価に関しては妥当である。○ 体を動かして遊ぶことが好きになって欲しい。

- 幼児の頃から、「歩く」「遊ぶ」などを通して、体力をつけなければいけない。

3 今後の学校運営についての意見

- 虐待、不登校の状況について、実態を把握していかなければいけない。

- 社会で生きていく一人として育てていく必要がある。